Engineer

完成の定義

プロダクトの作業が完成したと判断するための共通品質基準

どのようなものか

完成の定義は、作業を完成したプロダクトのインクリメントに含めるために満たすべき、共通の品質基準です。「私のパソコンでは動く」は一つの観察結果です。完成の定義があれば、変更を統合したか、必要な確認を済ませたか、別の担当者が利用や保守を行える状態かを、チームで判断できます。プロダクトが今どの状態にあるかを、関係者から見えるようにするためのものです。

スクラムガイドでは、プロダクトに必要な品質基準を満たしたときのインクリメントを正式に記述したものと説明しています。基準を満たさない作業は、リリースしたり、スプリントレビューでインクリメントの一部として提示したりできません。後で再検討するため、プロダクトバックログへ戻します。組織に定められた基準があれば、スクラムチームは少なくともその基準に従います。同じプロダクトを作る複数のチームには共通の完成の定義が必要です。証拠を集める手段まで同じである必要はありません。

受け入れ基準は、個々の変更に求める挙動を示します。例えば、書き出しに関する変更では、利用者が指定した場合だけ、保管済みのアカウントを含めるよう求めることがあります。一方、完成の定義では、保存データを変更する作業が統合され、既存の代表的な記録で確認され、必要な運用手順の更新を伴うことを求められます。前者はその書き出しの挙動を扱い、後者はプロダクト全体の作業に共通する品質を扱います。変更の判断には、それぞれの証拠が必要です。

概念を判断に生かす

「完成の定義とは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 範囲、日程、難しい調整に責任を持つ担当者を置き、5つの意見が並ぶだけでなく、1人の責任者がいる状態にします。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 推定4,000時間を削減、チームは2人から18人へ — 4,000 時間を削減し、チームを2人から18人へ拡大

推定4,000時間を削減、チームは2人から18人へ お問い合わせ →

なぜ重要なのか

共通の判断基準があると、計画と引き継ぎで迷いにくくなります。バックグラウンド処理が単体テストに通っていても、古いデータを使って移行を試した人がまだいない場合があります。実装担当者は作業がほぼ終わったと考え、運用担当者は公開に向けたリスクが残っていると考えるかもしれません。完成の定義は、別の担当者が変更を前提に計画を立てる前に、何を示す必要があるかを明らかにします。不足している証拠も具体的に伝えられます。

条件を選ぶときは、チームが繰り返し対処する故障や不備を考えます。ライブラリであれば、変更した公開動作のテスト、影響を受ける版での互換性の確認、互換性が失われる場合の更新案内を求められます。個人情報を扱うサービスでは、変更した経路でその情報がどう処理されるかを確認します。画面を担当するチームには、キーボード操作に関する共通条件や、対応言語ごとに変更した文言を読む確認があり得ます。いずれも、検証できる状態を条件として書きます。その状態を示すコマンド、記録、レビュー結果は別に残せます。

この定義があれば、進捗の表示も比較しやすくなります。一方のチームがコードレビューの後で作業を完了とし、他方が代表的なデータでの試験を待つなら、同じ表示に異なる残作業が隠れます。基準をそろえても開発の難しさはそろいません。どこまで確認したかを、同じ意味で伝えられるようになります。

実際の活用例

架空の報告システムを考えます。夜間に取引先のファイルを取り込み、失敗時には最後に検証した報告を利用できるようにしています。次の変更では任意項目を一つ追加します。受け入れ基準は、項目のあるファイルとないファイルを扱います。取り込み処理の変更に対する完成の定義には、次の条件が考えられます。

- 全体として評価する版に変更を統合する。代表的な入力で、受け入れ基準と、影響を受ける既存の挙動を確認する。
- 安全な試験環境で、途中の失敗と再試行を実際に発生させる。前回の報告を開けることと、再試行で同じ行が二重に登録されないことを確認する。
- 変更した運用手順を、担当者が探す場所で更新する。リリースの記録に、試した入力、結果、重要な制約を記載する。

検証には実際のリリース候補を使います。既存のファイル、新しい項目を持つファイル、制御した障害の順に試します。障害の前後で報告の識別子を記録し、再試行して合計と行の識別子を照合します。別の担当者に新しい手順書を探してもらい、どの報告が利用可能かを確かめてもらいます。正しい手順書が、使う人に見つけられない場所にあることもあります。試験で必要な状態を観察できなければ、不足を記録して検証方法を直します。

当社のサービスレベルでは、文書化や、コード、アクセス権、認証情報、現状の引き継ぎについて説明しています。これらは調べられる具体的な内容です。例えば、別の保守担当者が使える引き継ぎ文書を条件とし、その人に関連する手順や未解決の問題を見つけてもらう方法があります。これは完成条件の一例です。リンク先の公開内容は、チームが選ぶ開発手法とは独立しています。

問題が起きるところ

判断できない文言は問題になります。「入念にテストする」だけでは、取り込みが中断したときに不足していることを判断できません。「復旧を確認する」だけでは、報告を実際に開く前に確認を終えてしまうかもしれません。何を観察し、どの結果を得ればよいかを書きます。確認項目が変更に本当に当てはまらない場合は、理由を記録して、当てはまる確認を続けます。

長い作業一覧を共通基準にすると、変更に適した方法を選びにくくなります。既知の報告を使うだけで復旧を確かめられるチームもあれば、実際のバックアップを復元する必要があるチームもあります。証拠の取り方は違っても、復旧後に必要な状態は共通です。具体的なやり方は道具の近くに置き、重要な状況が曖昧だと分かったら共通条件を見直します。

テストが通っても、示せるのは確認した範囲です。報告が存在することを検証しても、それが前日のものだと見落とす場合があります。各観察が何を示し、実際に次へ進める候補に対して行ったものかを確認します。基準を満たせなければ、不足する証拠と次の作業を残します。達成した結果と、利用できるインクリメントになるまでの作業が、それぞれ分かります。

参考資料

- スクラムガイドの完成の定義
- Scrum.org による完成の定義の解説
- 英国政府のサービスマニュアルのユーザーストーリーと受け入れ基準

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

必要な判断、影響を受ける人々、すでに検討した選択肢をお知らせください。選択に伴う利点と不利益を明確にし、推奨案を文書に残せます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「完成の定義とは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/definition-of-done/